

ボジュイク・メケジェ道路改良事業【トルコ】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 平成 21 年 8 月

1. 案件概要	
(1) 供与国名	トルコ
(2) 案件名	ボジュイク・メケジェ道路改良事業
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日, 供与条件などを含む	<p>ボジュイク・メケジェ区間(75km)を, 既存2車線から4車線に拡幅するとともに, 交通渋滞の激しいボジェイク市街地にバイパス(11km)を建設することにより, 増加する道路輸送需要への対応を図り, もって, 物流の円滑化による同国の産業の振興を支援することを目的とするものである。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土木工事 ・ コンサルティングサービス <p>ア 閣議決定日:平成 11 年8月 13 日 イ 供与限度額:293.67 億円 ウ 金利:2.20%/0.75% エ 償還(据置)期間:25(7)年/40(10)年 オ 調達条件:一般アンタイト/二国間タイト</p>
2. 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会的ニーズの現状</p> <p>本事業における道路はトルコを南北に結ぶ主要国道に位置し, 国道投資計画における最優先事業のひとつとなっている。また, 事業計画当初, 交通量は一日平均約7千台であったものが, 2015年には2万台になると予測されている。トルコの南北をつなぎ, 同国西部(マルマラ地域)の工業製品及び南部(地中海地域)の農産品等の物流に利用される重要な道路であり, 社会的ニーズは引き続き高い。</p>

	<p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>調達手続きの遅延及び、2001年の経済危機の影響によるトルコ政府内における予算不足に伴い、事業進捗に影響があったものの、その後財政状況は好転した。なお、その後主要工事はほぼ終了し(2010年1月に首相臨席下で開通式を実施した)、残工事を含め、現在事業は順調に進捗している。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られない他、事業の進捗を妨げていた要因は既に解決しており、現在貸付の最終段階にある。</p>
<p>3. 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交換公文 ・外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 (http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/index/anzen/zyoukyou.html) ・国際協力機構の案件一覧(http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php) ・国際協力機構のプレスリリース(http://www.jica.go.jp/press/index.html) ・国際協力機構の事業事前評価表 (http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/oda_loan/before/index.html) ・その他国際協力機構から提出された資料